

事務事業名 児童生徒通学支援事業

出力日：令和07年03月18日

キーコード：567

施策：	18	学校教育の充実	財務コード	01090103-11-470
基本事業：	01	教育環境の整備	担当部	教育部
基本事業の 成果指標	学校施設の維持管理上の不具合による教育支障件数		担当課	学校教育課
			担当係	学校教育担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度		昭和54年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画	
1．対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2．手段（事務事業の内容、やり方、手順）					
天拝小校区児童、天山地区児童、平等寺地区児童、二日市東小校区児童、馬市地区児童				・天拝小校区において、交通量が非常に多い交差点、危険箇所の登下校時の安全のため、指導員による安全指導業務を委託(シルバー人材センターへ委託、朝夕2回、1日大門方面2名、塔原地区2名)。 ・天山地区児童の登下校時のスクールバス運転業務を委託(つくしの観光へ委託、1日朝夕各2往復)。 ・平等寺地区児童下校時、バス待合い室の監視業務を委託(平等寺子ども会へ委託、1日1名)。 ・平等寺地区児童通学のため、積雪時の除雪作業を委託。 ・二日市東小校区において、交通量が多い交差点、危険箇所の登下校時の安全のため、指導員による安全指導業務を委託(シルバー人材センターへ委託、朝夕2回、1日2名)。 ・馬市地区児童の登下校時のスクールタクシーの運行を委託(1日朝夕各1往復)。					
3．意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
児童の通学における安全を確保する。									
4．成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	目標
			実績	実績	当初	要求	計画	計画	
安全確保された対象地区児童数		人	1,025	1,026	1,000	1,000			1,000
5．コスト									
事業費	計	千円	10,038	11,276	12,397	12,705			
	国	千円	0		0	0			
	県	千円	0		0	0			
	地方債	千円	0		0	0			
	その他	千円	0		0	0			
	一般	千円	10,038	11,276	12,397	12,705			
正職員人工数		人工	0.3	0.3	0.3				
正職員人件費		千円	2,318	2,345	2,407				
トータルコスト(事業費＋正職員人件費)		千円	12,356	13,621	14,804	12,705			
6．成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
●あがっている ○どちらかといえばあがっている ○あがっていない（停滞・低下）		対象地区児童に対し、スクールバス、スクールタクシーの運行業務委託、通学安全指導業務委託等の実施により、通学の安全確保ができた。							
7．評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし						
成果向上余地	中程度								
8．改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				■改善方向性		●維持 ○見直し ○廃止 ○事業終了			
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
■事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）					■備考・特記事項 or 進行管理欄				
阿志岐小移転に伴うバスによる通学支援をH4年より開始。天拝小分離新設に伴いH14より交通安全指導を開始。筑紫東小分離新設に伴い馬市地区はタクシー通学支援を行っている。平等寺小廃校に伴い平等寺地区が積雪時、除雪実施。二東小の狭小通学路の安全確保のため、指導員の配置をH21年度より実施。					通学区域内の交通量は増加傾向にある。安全対策上、今後もスクールバスによる通学、危険箇所の交通安全指導、タクシーによる通学上の安全確保、除雪作業を行うことが地元保護者より要請されている。				